



▼財産の状況

公有財産

土地	3,988万4,387㎡
建物	542万8,241㎡
航空機(消防ヘリコプター)	1機
物権	5,647㎡
無体財産(特許権など)	126件
有価証券	49億2,526万円
出資による権利	53億6,642万円
物品	4,120点・台
債権	134億9,422万円

▼主な基金の状況

財政調整	111億66百万円
減債	922億61百万円
土地開発	698億44百万円
まちづくり推進	201億37百万円
奨学	10億33百万円
リサイクル推進	5億5百万円
合 計	2,097億5百万円



○財政調整基金は、決算額が予算額を下回ったときなどに積み立てており、財源が不足するときや、緊急の事業を行うときなどに使うためのお金です。

備えが多いほど将来の計画も立てやすく、市の運営も楽になりますが、少ないと非常時に対処できなくなってしまう。

○減債基金は、借金を返すためのお金です。

「金」といいます。基金でもっている資金を運用して得た利



貯金も財産もありますよ。市の貯金のことを「基金」



貯金や財産ってあるの？

益で特定の事業を行っているものや、財源不足や緊急時に使うものなど、いろいろな基金が全部で二十あります。また、財産は土地や建物など九種類あります。学校や公園、道路のほか市役所や区役所などが含まれています。

■基金

現在高総額
2,097億5百万円

※決算剰余金を積み立てた後の額です。

▼一時借入金残高 (15年3月末現在)

一般会計	0円
特別会計	7億25百万円
企業会計	19億1千万円
合 計	26億35百万円

◇年度の途中で、市税などの収入より支払いが先行するときなど、一時的に銀行などから借り入れるお金のこと。

<各会計の内容> (平成14年度に実施した主なもの)

市立札幌病院

- ・放射線治療装置などを購入
- ・全診療科で予約診療を開始

中央卸売市場

- ・旧水産棟の解体工事に着手
- ・水産棟1期工事のしゅん工

市バス・市電

- 市バス・自動車運送事業での規制緩和に伴い民間との均衡を考慮して一般会計補助金の見直しを実施
- 市電・老朽化した軌道や舗装面の改良などを実施

地下鉄

- ・ホームからの転落者などを車両に知らせる非常警報装置をさっぽろと大通、すすきの駅に整備
- ・東西線に新型車両を導入
- ・駅施設の改良工事を実施

水道

- ・藻岩浄水場の改修工事を終了
- ・2カ月検針実施区を拡大

下水道

- ・水質保全のため伏古川処理場の高度処理
- ・浸水対策として拡充管路整備
- ・地震対策として汚泥圧送管整備
- ・平成14年度末に解散した札幌市石狩市茨戸下水処理場管理組合の決算を実施